



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成31年2月12日

上場会社名 株式会社昭和システムエンジニアリング 上場取引所 東
 コード番号 4752 URL <http://www.showa-sys-eng.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 裕一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 五十嵐 真貴 TEL 03-3639-9051
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の業績（平成30年4月1日～平成30年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	4,581	0.5	394	3.9	401	4.0	273	5.4
30年3月期第3四半期	4,557	0.9	379	17.4	386	13.3	259	16.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	61.82	—
30年3月期第3四半期	58.07	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
31年3月期第3四半期	5,782		3,151		54.5	
30年3月期	5,823		2,993		51.4	

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 3,151百万円 30年3月期 2,993百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00
31年3月期	—	0.00	—		
31年3月期（予想）				24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年3月期の業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,200	2.0	470	2.7	477	2.5	322	0.3	72.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期3Q	4,810,000株	30年3月期	4,810,000株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	385,169株	30年3月期	385,169株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期3Q	4,424,831株	30年3月期3Q	4,467,030株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益及び雇用・所得環境の改善が堅調に推移し、緩やかな回復基調を維持しております。

一方、世界経済においては、米中貿易摩擦の長期化、通商問題による金融資本市場の変動の影響など、先行き不透明感が強まる状況が続いております。

当社を取り巻く情報サービス産業においては、デジタルトランスフォーメーションを実現するIoTやAIのニーズが高まり、既存人材のスキルシフト、次世代を担う人材育成が必要不可欠となっております。

このような状況の中、当社は顧客ニーズに応じた受注活動を継続して実施し、経営資源の有効活用及び生産性向上に努めると共に、最新テクノロジーの活用による新たなサービス等への取り組みに注力してまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高4,581百万円(前年同期比0.5%増)、営業利益394百万円(前年同期比3.9%増)、経常利益401百万円(前年同期比4.0%増)、四半期純利益273百万円(前年同期比5.4%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ソフトウェア開発事業

ソフトウェア開発事業は、売上高4,488百万円(前年同期比0.5%増)、売上総利益727百万円(前年同期比2.7%増)となりました。

② BPOエントリー事業

BPOエントリー事業(業務代行サービス)は、売上高92百万円(前年同期比0.5%増)、売上総損失1百万円(前年同期は売上総損失1百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は4,626百万円(前事業年度末比38百万円の増加)となりました。主な要因は仕掛品が32百万円増加したことによります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産は1,156百万円(前事業年度末比78百万円の減少)となりました。主な要因は繰延税金資産60百万円の減少及び投資その他の資産に含めた投資有価証券の時価評価が14百万円下落したことによります。

その結果、当第3四半期会計期間末における資産合計は5,782百万円(前事業年度末比40百万円の減少)となりました。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は659百万円(前事業年度末比198百万円の減少)となりました。主な要因は賞与引当金が161百万円減少したことによります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債は1,971百万円(前事業年度末比0百万円の増加)となりました。これは退職給付引当金の増加111百万円があったものの、支払による取崩110百万円によるものであります。

その結果、当第3四半期会計期間末における負債合計は2,631百万円(前事業年度末比197百万円の減少)となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は3,151百万円(前事業年度末比157百万円の増加)となりました。主な要因は四半期純利益273百万円による利益剰余金の増加があったものの、その他有価証券評価差額金9百万円の減少及び配当金の支払106百万円による利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の通期業績予想につきましては、平成30年5月11日に発表いたしました業績予想数値に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,859,804	3,874,725
売掛金	698,589	667,812
仕掛品	11,109	43,307
その他	18,139	40,161
流動資産合計	4,587,642	4,626,007
固定資産		
有形固定資産	176,547	172,308
無形固定資産	3,678	3,478
投資その他の資産		
繰延税金資産	683,782	623,693
その他	371,354	357,398
投資その他の資産合計	1,055,136	981,092
固定資産合計	1,235,362	1,156,878
資産合計	5,823,004	5,782,885
負債の部		
流動負債		
買掛金	202,647	211,179
短期借入金	10,000	10,000
未払法人税等	103,607	9,138
賞与引当金	313,536	152,395
その他	228,336	276,961
流動負債合計	858,126	659,674
固定負債		
役員退職慰労未払金	60,973	60,973
退職給付引当金	1,910,144	1,910,988
固定負債合計	1,971,118	1,971,962
負債合計	2,829,245	2,631,636
純資産の部		
株主資本		
資本金	630,500	630,500
資本剰余金	553,700	553,700
利益剰余金	2,137,047	2,304,375
自己株式	△200,688	△200,688
株主資本合計	3,120,559	3,287,886
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	52,579	42,741
土地再評価差額金	△179,378	△179,378
評価・換算差額等合計	△126,799	△136,637
純資産合計	2,993,759	3,151,249
負債純資産合計	5,823,004	5,782,885

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	4,557,298	4,581,023
売上原価	3,849,630	3,854,959
売上総利益	707,668	726,064
販売費及び一般管理費	328,252	331,832
営業利益	379,416	394,232
営業外収益		
受取利息	369	383
受取配当金	4,213	4,774
受取家賃	1,395	1,395
受取手数料	675	614
雑収入	380	280
営業外収益合計	7,033	7,447
営業外費用		
支払利息	32	32
固定資産除却損	—	45
自己株式取得費用	278	—
営業外費用合計	311	77
経常利益	386,138	401,601
税引前四半期純利益	386,138	401,601
法人税、住民税及び事業税	72,515	63,670
法人税等調整額	54,208	64,408
法人税等合計	126,723	128,078
四半期純利益	259,414	273,523

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。